

[通常機体] コ Y 「SEED DESTINY」

コアスプレnder

機体名	コアスプレnder	画像
型式番号	YFX-M56	
英語名	CORE SPLENDER	
所属	ザフト軍	
パイロット	シン・アスカ	
装甲材質		
装備	MMI-GAU19 20 ミリ機関砲 QF908 航空ミサイル ランチャー AGM33 <レディバード>誘導ミサ イル	
作品名	機動戦士ガンダム SEED DESTINY	
参考書籍	月刊ニュータイプ 2005 年 1 月号付録 機動 戦士ガンダム SEED DESTINY コアファイター セレクションガンダムファクトファイル	

内容

戦闘機に変形可能な独立型のコクピットシステム。

チェストフライヤー（インパルスガンダムの上半身構成パーツ）、レッグフライヤー（インパルスガンダムの下半身構成パーツ）と合体し、インパルスガンダムになる。

■ガンダムファクトファイル (No131)

インパルスガンダムのコクピットブロックとなる小型戦闘機。

通常は戦闘機形態をしているが、母艦であるミネルバを発艦後にブロック状に変形。チェストフライヤーとレッグフライヤーとドッキングしてインパルスガンダムとなる。

この様な複雑な機構をザフトが採用したのは、ユニウス条約の制限内での軍備拡大を模索したためであり、コアスプレnderを分離・合体が可能な航空機のカテゴリーに入れる事で、MS 保有数の制限解消を図ったのである。

また実戦では、コアスプレnderは脱出カプセルとしての機能が期待され、パイロットや機体の実戦データの回収を目的とするシステムとなった。

事実、コアスプレnderさえ機能していれば、破壊されたパーツを交換する事でインパルスガンダムは常に完全な状態を保てる事になり、コストや整備面を考慮しなければ、極めてサバイバビリティに優れた機体と言える。

ただし戦闘機としての能力はさほどでもなく、この形態で実戦が行われた事は殆ど無い。

備考

スペック

項目	内容
全高	

頭頂高	
全長	5.67m
重量	3.02t
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	